

## 「協力伝道週間」(2024/1/28~2/4)に寄せて

私たち日本バプテスト連盟は、毎年1月の最終主日から2月の第一主日までを「協力伝道週間」と定めています。協力伝道週間は、連盟結成50周年を迎えた1997年度より設置されました。協力伝道週間の趣旨・目的は「この週間には連盟の協力伝道の働きをおぼえ、他の教会・伝道所のために祈るプログラムを提供する。諸教会から献げられる『協力伝道献金』による働きを共有し、その目標額の達成に努める」(第46回定期総会〈1997年度・1998年度活動方針〉より)です。

2023年度から連盟は機構改革による新機構での協力伝道がスタートしました。今年度を含む中期(2023年度~2026年度)の主題として「今、共にキリストを証しするために~新たな『自立と協力』」を、副題に「各個教会・地域が主体となる協力伝道へ」を掲げて歩んでいます。その主題のもと、①各個教会・地域主体の協力伝道、②多様な声が響き合う連盟、③協力伝道献金体制の確立、を目指しています。財政の減少、働きを担う人財不足など加盟する諸教会・伝道所が苦しい状況に直面し、教会の存在自体が揺るがされている現状があります。そんな中、これからいよいよ「協力伝道献金体制」を確立していこうとする連盟にあって、キリストを証しするために協力し合える喜びを再確認し、そこに向かって祈りを結集してまいりましょう。そして、共に協力伝道の働きを担い合い、協力伝道献金の目標額(予算)が達成できるよう「協力伝道献金の『祈りと励ましの標準比率』」(2013年第53回定期総会改定)を確認し、励まし合い、捧げてまいりましょう。

ポスターには、機構改革の主題と聖句、そして改革の大方針と協力伝道献金の目標額を記しました。また、同封している《祈りの暦》には協力伝道の働きの具体と祈りのテーマを記しています。これらのものを用いて協力伝道の働きを覚えてお祈りください。また、各個教会におかれましてはこの協力伝道週間に際して、連盟の協力伝道を主体的に担い支えることを確認する時としていただきたく思います。この時を、他の教会・伝道所のために祈る、「祈りにつながる協力伝道」のまじわりの豊かさと恵みの時として大切にしていりましょう。

2023年12月19日  
日本バプテスト連盟 理事会

日本バプテスト連盟 2023年度

# 協力伝道週間

2024年1月28日[日]~2月4日[日]

主題: **今、共にキリストを証しするために**  
~新たな『自立と協力』~  
~各個教会・地域が主体となる協力伝道~

## 【機構改革の大方針】

- ① 各個教会・地域主体の協力伝道へ
- ② 多様な声が響き合う連盟へ
- ③ 協力伝道献金体制の確立

聖句:「愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです」  
(コロサイの信徒への手紙 3章 14節)

私たちはこれまで全被造物との共なる礼拝の実現を願い、和解のつとめに仕えることを大切にしてきました。あらためてその大切さを共に覚えたい。あらゆる生命が危機に直面するこの世の只中で、キリストを証しするために、教会の信仰を確認し、告白し、共に神の宣教に仕えつつ歩んでいきたい。  
(2024年度活動方針・計画案より)

2023年度協力伝道献金目標額 118,000,000 円

わたしたちの教会の協力伝道献金目標額( ) 円)

協力伝道週間・祈りの暦は『バプテスト』誌1月号、または連盟ホームページをご覧ください。





# 「協力伝道週間・祈りの暦」 2024年 1月28日(日)～2月4日(日)

「協力伝道週間」のとき、機構改革で目指す、①各教会・地域主体の協力伝道 ②多様な声が響き合う連盟機構 ③協力伝道献金体制の確立、を覚えて祈りましょう。 ※『バプテスト』誌2024年1月号掲載

## ■ 1/28・日 [諸教会・伝道所]

諸教会・伝道所が祈りによって結ばれ、それぞれの福音宣教の働きが豊かに祝われますように。機構改革が進められる中、教会間・地方連合間等において、よりよい協力ができますように。無牧師の教会・伝道所を覚えて。専任牧師不在：39教会・7伝道所

## ■ 1/29・月 [理事会、監事、総会議長団]

**【理事会】** 連盟の協力伝道をつなぐべく責任を託された理事会として、全体を俯瞰(ふかん)して見、全国の諸教会・伝道所、地域の諸課題にとって必要な政策を立案できますように。理事1人ひとりの霊性と健康が護られ、その任を果し得ますように。新しい機構の中でさまざま生じる戸惑いに対して、その声を受け止めながら共に謙遜に進めますように。祈りをもって協力伝道献金を捧げ合うことができますように(2023年度目標1億1,800万円)。

**【監事】** 新機構での歩みが始まって間もなく1年が経とうとしています。連盟の活動が中期計画に基づき、諸教会・伝道所やその置かれた地域が主体となった豊かな歩みとなりますように。新しい制度での選挙(立候補制・クォータ制の導入)で選出された理事1人ひとりの働きが協力伝道の業に豊かに用いられますように。監事：森恭子(主任・高崎)、小河義伸(八王子めじろ台)

**【総会議長団】** 2/2-3開催の第69回定期総会に多くの教会が出席し、協力伝道について豊かな話し合いができますように。議長団の働きのために。議長：川内裕子(帯広) 副議長：三上充(東熊本) 書記：田森茂基(旭川) 総会運営委員：岩瀬礼(綾瀬小園)、鮫島泰子(神戸伊川)、高橋周也(岡山)、田代仁(前橋)、元川信治(千葉)

## ■ 1/30・火 [総務委員会、財政委員会]

**【総務委員会】** 2024年度に発足する予定のICT委員会に必要な人材が主により立てられ、その働きが諸教会・伝道所の働きと結びつき喜びを分かち合うことができますように。機構改革で立てられた常設委員会各委員の働きとその働きを支える連盟事務所スタッフの働きのために。委員：壱岐基子(長・前橋)、伊東昌彦(横浜JOY)、中條智子(長住)、平尾輝明(茗荷谷)、廣島尚(浦和)

**【財政委員会】** 財政委員会では「財務タスク答申」(第68回定期総会)に従って、2026年度に連盟総体の収支均衡を目指しています(教役者退職金制度を除く)。この働きに仕える委員と年金チームのためにお祈りください。委員：梶井義郎(長・高松常磐町\*財務理事)、北村慎二(宝塚)、木村憲子(古賀)、篠松次郎(常盤台)、山田洋子(広島)、年金チーム：古賀公一(花野井)

## ■ 1/31・水 [地域協働委員会、研修委員会、ハラスメント対策委員会]

**【地域協働委員会】** 諸教会・伝道所、各地方連合と協働のためにお祈りください。①2026年度実施に向けて新支援政策を検討するタスクチームのために。②教会特別支援、伝道プログラム支援がより豊かな伝道諸活動の励ましとなるために。③各地方連合の役員の仕事のために。④委員会、各地方連合、宣教室との連携のために。委員：伊藤光雄(長・姪浜)、石橋大輔(札幌)、大竹敏生(高松太田)、河野信一郎(大久保)、喜多村やよい(田辺)、鈴木牧人(姪浜)、蛭川潤子(郡山コスモス通り)、二見真義(浦和)

**【研修委員会】** 教会教育、教会音楽、ユース伴走など多岐にわたる働きが整えられ、諸教会・伝道所を励ますものとなるように。全国ユースキャンプ(24年度予定)、全国バプテスト大会(25年度予定)の準備のために。委員：金丸真(長、仙台長命ヶ丘)、鈴木千鶴香(長住)、田中伊策(直方)、藤井秀一(花小金井)、藤井義喜(青葉)、矢野由美(千葉)、山下真実(ふじみ野)、山中臨在(品川)

**【ハラスメント対策委員会】** ①教会の中で生きづらさを感じていたり、被害にあっている人たちに解決が与えられるように。②諸教会・伝道所、連盟事務所、その他関連事業体においてハラスメントの学びと対策が行われるように。③委員会に託される事案についてより良い解決を模索していくことができるように。④委員の働きのために。委員：城倉由布子(長・泉) 対策グループ：岡田富美子(那覇新都心)、中田義直(常務理事)、中條智子(長住) 相談グループ：今給黎真弓(豊中)、小川紋子(盛岡)、加藤美代子(四日市)、元川信治(千葉)

## ■ 2/1・木 [特別委員会・臨時委員会、国外伝道]

**【特別委員会】** 靖国神社問題、公害問題、日韓・在日連帯、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、障がい者と教会、回転資金、神学教育、資料保存・管理 **【臨時委員会】** 平和宣言推進、憲法アクション(休止中)、東日本大震災被災地支援、『バプテスト』誌編集、これからの機関紙準備、ICT臨時、国外伝道臨時、給与検討/\*これからの伝道者養成、\*これからの国外伝道検討 \*理事会答申で終了

**【国外伝道】** 全国の祈りと日本バプテスト女性連合、国外伝道臨時委員会、宣教室のサポートを受けて、インドネシア派遣：野口日宇満・野口佳奈両宣教師、ルワンダ派遣：佐々木和之国際ミッション・ボランティアの働きが守られますように。女性連合と連盟との協働がより良く進められるように。

## ■ 2/2・金 [伝道者養成・神学部・神学校]

①諸教会・伝道所から多くの献身者が起こされるように。②西南学院大学神学部・同大学院神学研究科、東京、九州各バプテスト神学校で学ぶ神学生、教員・スタッフのために。③全国壮年会連合と同奨学金委員会のために。「神学生奨学金献金」(神学校献金)目標額2,500万円が満たされるように。

## ■ 2/3・土 [関係事業体、国内外協力団体]

西南学院、西南女学院、日本バプテスト連盟医療団/日本バプテスト女性連合、全国壮年会連合、青年大会実行委員会、全国教役者会、女性牧師・主事の会/沖縄バプテスト連盟、日本バプテスト同盟、日本バプテスト宣教団、日本キリスト教協議会、日本キリスト教連合会、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会、同和問題にとりくむ宗教教団連帯会議、部落問題に取り組むキリスト教連帯会議、キリスト者平和ネット、難民・移住労働者問題キリスト教連絡会、カルト問題連絡会、教誨師連盟、バプテスト保育連盟、ろう伝道委員会、バプテスト福祉協議会、世界バプテスト連盟、アジア太平洋バプテスト連合、コーポラティブ・バプテスト・フェローシップを覚えて。各事業体、団体との協力のために。

## ■ 2/4・日 [宣教研究所、連盟事務所]

**【宣教研究所】** ①時宜になかった宣研の働きとポストコロナを見すえ諸教会・伝道所の働きに資する研究と研修のために。②新任牧師・主事研修会(2/28～3/2)の準備と運営委員会、宣研スタッフの働きのために。③今後の宣研のために。

**【連盟事務所】** 機構改革で3室体制になった連盟事務所(総務室、宣教室、常務理事室)を覚えて。これに伴い新たに立てられた『聖書教育』編集実務者会と『新生讃美歌』推進担当の働きを覚えて。